

平成27年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月9日

上場取引所 東

上場会社名 シンワアートオークション株式会社  
 コード番号 2437 URL <http://www.shinwa-art.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 倉田 陽一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 益戸 佳治

TEL 03-5537-8024

四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第2四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第2四半期	816	43.5	△12	—	△15	—	△24	—
26年5月期第2四半期	568	—	70	—	63	—	47	—

(注) 包括利益 27年5月期第2四半期 △27百万円 (—%) 26年5月期第2四半期 44百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第2四半期	△4.37	—
26年5月期第2四半期	9.24	8.70

- (注) 1. 平成26年5月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年5月期第2四半期の対前年同四半期増減率については、記載しておりません。  
 2. 当社は平成25年12月1日付で、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。  
 3. 平成27年5月期第2四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年5月期第2四半期	3,475	1,586	45.3	278.35
26年5月期	2,860	1,644	57.1	288.65

(参考) 自己資本 27年5月期第2四半期 1,575百万円 26年5月期 1,632百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	6.00	6.00
27年5月期	—	0.00	—	—	—
27年5月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,728	169.1	304	124.7	286	134.3	163	50.1	28.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成27年1月9日)公表いたしました「平成27年5月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び平成27年5月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期2Q	6,516,100 株	26年5月期	6,516,100 株
② 期末自己株式数	27年5月期2Q	854,800 株	26年5月期	859,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期2Q	5,657,802 株	26年5月期2Q	5,169,433 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 41「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成27年1月14日(水)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年6月1日～平成26年11月30日）におけるわが国の経済は、政府の金融政策、財政政策の効果もあり、株価や雇用環境の改善等一部に良好な指標が見られ、これらを背景に全体としては緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動からの回復は当初想定よりも鈍く、また海外では中東やウクライナ情勢などの地政学リスクが高まり、中国・新興国の景気減速懸念と相まって引き続き国内景気を押し下げるリスク要因となっております。

美術品取引業界においては、昨年来の先高期待感のある市況から変化して、政局を反映した格好で一服感がでており、全体としては先行き不透明な状況に推移しております。

このような環境のもと、当社グループは、当社の主たる事業であるオークション関連事業において高額美術品を中心とした優良作品のオークションへの出品及び富裕層を中心とした美術品コレクターのオークションへの参加促進に努めるとともに、再生可能エネルギー関連事業及び医療機関向け支援事業においては、安定的な収益の早期確保に向けた体制の構築に努めました。

セグメントの業績は次のとおりです。

なお、前連結会計年度末より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較につきましては、前年同四半期の数値を変更後のセグメントに組み替えた数値で比較しております。

## ①オークション関連事業

当第2四半期連結累計期間は、近代美術オークション、近代陶芸オークション、近代美術PartⅡオークション、西洋美術オークション、ワインオークション及びJewellery&Watchesオークション（ブランド雑貨を含む）を開催したほか、特別オークションとして「棟方志功—漆黒の宇宙、紅色のいのち」を開催し、取扱高2,300,293千円（前年同期間比9.9%増）、売上高576,646千円（前年同期間比2.2%増、内商品売上高153,090千円（前年同期間比11.6%減））、となりましたが、セグメント利益は、販売費及び一般管理費の増加により12,803千円となりました。

種別の業績は次のとおりです。

種 別	第26期第2四半期連結累計期間							
	自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日							
	取扱高 (千円)	前年比 (%)	売上高 (千円)	前年比 (%)	オークション 開催数	オークション 出品数	オークション 落札数	落札率 (%)
近代美術オークション	1,303,960	18.3	248,415	3.7	3	494	395	80.0
近代陶芸オークション	102,825	17.4	28,010	44.6	2	455	427	93.9
近代美術PartⅡオークション	115,642	△30.9	28,109	△38.4	3	803	721	89.8
その他オークション	608,141	3.4	137,579	4.1	6	2,351	1,445	61.5
オークション事業合計	2,130,568	9.5	442,115	1.2	14	4,103	2,988	72.8
プライベートセール	117,328	19.2	108,637	15.9				
その他	52,396	6.8	25,893	△22.9				
オークション関連 その他事業合計	169,724	15.1	134,530	5.6				
オークション関連事業合計	2,300,293	9.9	576,646	2.2				

## i) オークション事業

主力の近代美術オークションでは、前年同期間比で出品点数27.0%増、落札点数24.2%増と共に大きく増加しました。落札価額も落札予想価格帯（エスティメイト）下限合計額に対して平均131.3%の伸び率と、順調な成績を収めております。

近代陶芸オークションも、前年同期間比で出品点数23.6%増、落札点数28.6%増と共に大きく増加しました。落札価額も落札予想価格帯（エスティメイト）下限合計額に対して平均122.3%の伸び率と、順調な成績を収めております。

近代美術Part II オークションは、前年同期間比で出品点数28.1%減、落札点数30.4%減と共に大きく減少し、その結果、取扱高、売上高共に前年同期間比で大きく減少いたしました。オークション事業全体的に価格は上昇傾向にあり、高額品に人気が集まる状況にあつて、低価格帯の作品の取り扱いが低調な結果となりました。

その他オークションでは、Jewellery&Watchesオークション及びワインオークションが、取扱高、売上高共に前年実績を大きく上回り、また特別オークションとして開催した「棟方志功―漆黒の宇宙、紅色のいのち」は、出品点数は22点と少ないながらも、平均落札単価は1,300万円を超え、セグメントの取扱高、売上高に大きく貢献いたしました。

## ii) オークション関連その他事業

プライベートセール部門では、当第2四半期連結累計期間も積極的な取り扱いに努めました。その他、貴金属等買取サービス及び時計・宝飾品やブランドバッグの小売販売を積極的に行いました。

なお、上表中の取扱高の前年比率と売上高の前年比率の乖離の大きな要因のひとつに、商品売上高の増減があります。商品売上高は、オークション落札価額に対する手数料収入、カタログ収入、年会費等と同様に当社の売上高を構成する要素であり、当社の在庫商品を販売した場合、その販売価格（オークションでの落札の場合には落札価額）を商品売上高として、売上高に計上することとしております。

近代美術オークション及びオークション関連その他事業の取扱高と売上高の前年比率の乖離の主な要因は、この商品売上高の減少であり、在庫商品の取り扱いが前年同期間比で減少し、販売委託の商品の取り扱いが増加していることを示すものであります。また、近代陶芸オークションの取扱高と売上高の前年比率の乖離は、手数料の増加（前年同期間比25.2%増）の他、商品売上高の増加が主な要因であり、在庫商品の取り扱いが前年同期間比で増加していることを示すものであります。

## ②再生可能エネルギー関連事業

再生可能エネルギー関連事業では、各社競合や設備認定制度の利権化により建設用地の獲得が容易には進まない状況にあり、個々の案件開発に想定以上の時間がかかる状況にあります。そのような中、当社グループは、50kW級小型太陽光発電施設の自社単独の用地確保、建設販売を基本としながら、必ずしもそれに囚われることなく、場合によっては比較的規模の大きい1MWクラスのものまでを視野に入れ、また、建設や販売など強みを活かした他社との役割分担という選択肢も含め、可能な限り多くの案件数を手掛けていくこととして事業に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間は、平成26年6月から9月までに50kW級の小型太陽光発電施設4基の販売、同10月に9基の販売を当初見込んでおりましたが、一部電力会社の連系保留措置により、予定しておりました九州地区の50kW級小型太陽光発電施設3基の連系販売が保留・延期となりました。これにより、今後の電力会社との連系保留となるリスクを回避するため、取り扱う物件をさらに絞り込み、電力会社への本申請が終了し電力会社からの系統連系工事負担金請求書を受領している、確実に連系可能な発電施設の建設請負・施工・販売事業のみに限定することといたしました。

このような状況において、平成26年9月以降、特に50kW級のような低圧型太陽光発電施設の取り扱いを増やすことで早期に建設工事を終えて電力会社との連系を急ぐ動きが加速し、これにより当社グループでは、平成27年3月までの販売体制を大幅に強化する必要に迫られることとなり、結果として販売費及び一般管理費が当初見込みより大幅に増加することとなりました。

また当社グループにおいて、平成26年12月連系及び平成27年3月連系の小型太陽光発電施設建設物件が増加したため、業務の遂行上、当第2四半期連結累計期間の連系販売予定の物件のうち一部を、平成26年12月の連系販売に切り替えたため、当第2四半期連結累計期間は6基のみの販売となりました。

また、当社保有の宮崎県西都市の穂北太陽光発電所（1MW級）の売電収入は、天候が例年より荒天であったため、予想を若干下回る結果となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の当社グループの再生可能エネルギー関連事業の売上高は239,378千円、セグメント損失22,798千円となりました。

## ③その他

医療機関向け支援事業におきましては、一昨年6月より診療報酬債権ファクタリング事業を開始し、医療機関向けファクタリングのための具体的折衝を随時行っておりますが、当社の第7回新株予約権に係る資金調達の遅れと、当社からの一時貸付を再生可能エネルギー関連事業に対して優先的に行っていることにより、投資機会を見送る状況にあります。

以上により、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高816,240千円、営業損失12,092千円、経常損失15,175千円、四半期純損失24,743千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①財政状態の分析

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は3,475,791千円となり、前連結会計年度末に比べ、615,680千円増加いたしました。その主な内訳はオークション未収入金の増加423,363千円、仕掛品の増加269,469千円、その他流動資産の増加75,108千円と、前渡金の減少181,472千円によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,888,924千円となり、前連結会計年度末に比べ、673,540千円増加いたしました。その主な内訳はオークション未払金の増加298,746千円、短期借入金の増加118,200千円、長期借入金の増加105,750千円（内訳は1年内返済予定の長期借入金増加243,791千円、長期借入金減少138,041千円）及びその他流動負債の増加159,108千円によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,586,866千円となり、前連結会計年度末に比べ、57,860千円減少いたしました。その主な内訳は利益剰余金の減少58,681千円によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前連結会計年度末より112,387千円減少（前年同期間は384,759千円の増加）し、815,873千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は178,630千円（前年同期間は194,701千円の獲得）となりました。これは主にオークション未収入金の増加による資金減少額423,363千円、たな卸資産の増加による資金減少額285,692千円と、オークション未払金の増加による資金増加額298,746千円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は131,719千円（前年同期間比61.0%減）となりました。これは主に定期預金の預入による資金減少375,000千円に対し、定期預金の払戻による資金増加245,000千円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は193,617千円（前年同期間比63.2%減）となりました。これは主に短期借入金の純増加額118,200千円及び長期借入れによる収入120,000千円による資金増加と長期借入金の返済による支出14,250千円及び配当金の支払額33,730千円による資金減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月期の業績予想は、平成26年7月11日に公表いたしました業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日（平成27年1月9日）公表いたしました「平成27年5月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び平成27年5月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,273,261	1,290,873
売掛金	5,065	10,343
オークション未収入金	26,100	449,463
商品	462,129	507,502
製品	100,583	71,433
仕掛品	55,590	325,059
前渡金	235,137	53,665
その他	84,613	159,721
貸倒引当金	△31	△593
流動資産合計	2,242,449	2,867,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,410	6,586
機械及び装置(純額)	291,873	282,954
車両運搬具(純額)	567	347
工具、器具及び備品(純額)	5,563	4,872
有形固定資産合計	305,415	294,761
投資その他の資産		
商品共同投資	240,853	240,853
その他	85,212	86,607
貸倒引当金	△13,819	△13,901
投資その他の資産合計	312,246	313,560
固定資産合計	617,661	608,321
資産合計	2,860,111	3,475,791
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,669	12,256
オークション未払金	52,585	351,332
短期借入金	696,500	814,700
1年内返済予定の長期借入金	28,500	272,291
未払法人税等	20,310	18,004
賞与引当金	18,484	19,643
役員賞与引当金	24,415	7,654
その他	67,058	226,167
流動負債合計	912,523	1,722,049
固定負債		
長期借入金	249,375	111,334
退職給付に係る負債	33,500	35,500
資産除去債務	7,386	7,441
その他	12,600	12,600
固定負債合計	302,861	166,875
負債合計	1,215,384	1,888,924

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	920,203	920,203
資本剰余金	524,953	525,486
利益剰余金	412,053	353,372
自己株式	△222,826	△221,530
株主資本合計	1,634,383	1,577,531
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,708	△1,708
その他の包括利益累計額合計	△1,708	△1,708
新株予約権	6,507	8,075
少数株主持分	5,544	2,968
純資産合計	1,644,727	1,586,866
負債純資産合計	2,860,111	3,475,791



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
売上高	568,633	816,240
売上原価	172,456	437,285
売上総利益	396,177	378,954
販売費及び一般管理費	326,003	391,047
営業利益又は営業損失(△)	70,173	△12,092
営業外収益		
受取利息	89	207
為替差益	2,275	4,398
受取保険金	1,800	-
未払配当金除斥益	-	677
その他	690	728
営業外収益合計	4,855	6,011
営業外費用		
支払利息	1,067	8,813
持分法による投資損失	1,559	-
新株予約権発行費用	8,554	-
その他	693	281
営業外費用合計	11,874	9,094
経常利益又は経常損失(△)	63,155	△15,175
特別損失		
固定資産除却損	1,450	-
事務所移転費用	2,318	-
特別損失合計	3,769	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	59,385	△15,175
法人税、住民税及び事業税	8,758	15,446
法人税等調整額	5,001	△3,302
法人税等合計	13,759	12,144
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	45,626	△27,320
少数株主損失(△)	△2,141	△2,576
四半期純利益又は四半期純損失(△)	47,767	△24,743

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	45,626	△27,320
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,204	-
その他の包括利益合計	△1,204	-
四半期包括利益	44,422	△27,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,563	△24,743
少数株主に係る四半期包括利益	△2,141	△2,576

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	59,385	△15,175
減価償却費	6,922	11,098
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△103	643
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,774	1,159
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,817	△16,761
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,000	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	2,000
受取利息及び受取配当金	△89	△207
支払利息	1,067	8,813
売上債権の増減額(△は増加)	55,682	△5,278
オークション未収入金の増減額(△は増加)	7,915	△423,363
たな卸資産の増減額(△は増加)	△63,540	△285,692
前渡金の増減額(△は増加)	△44,461	181,472
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,338	7,587
オークション未払金の増減額(△は減少)	168,179	298,746
有形固定資産除却損	1,450	-
その他	7,748	82,325
小計	198,775	△152,631
利息及び配当金の受取額	112	211
利息の支払額	△1,067	△9,102
法人税等の支払額	△3,118	△17,108
営業活動によるキャッシュ・フロー	194,701	△178,630
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
貸付金の回収による収入	-	517
有形固定資産の取得による支出	△303,162	△444
定期預金の預入による支出	△275,000	△375,000
定期預金の払戻による収入	245,000	245,000
敷金及び保証金の差入による支出	△7,147	△2,078
敷金及び保証金の回収による収入	2,582	285
投資活動によるキャッシュ・フロー	△337,726	△131,719
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	130,000	118,200
長期借入れによる収入	285,000	120,000
長期借入金の返済による支出	-	△14,250
株式の発行による収入	111,617	-
自己株式の処分による収入	-	1,820
配当金の支払額	△9,994	△33,730
少数株主からの払込みによる収入	4,900	-
新株予約権の発行による収入	4,176	1,577
財務活動によるキャッシュ・フロー	525,699	193,617
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,085	4,345
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	384,759	△112,387
現金及び現金同等物の期首残高	661,316	928,261
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	19,189	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,065,265	815,873

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	オークション関連事業	再生可能エネルギー 関連事業	計		
売上高	564,140	4,049	568,189	444	568,633
セグメント利益 又は損失(△)	82,662	△6,389	76,272	△6,099	70,173

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、医療機関向け支援事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	オークション関連事業	再生可能エネルギー 関連事業	計		
売上高	576,646	239,378	816,024	216	816,240
セグメント利益 又は損失(△)	12,803	△22,798	△9,994	△2,097	△12,092

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、医療機関向け支援事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社及び当社の連結子会社は、オークションの企画、運営を行うオークション関連事業と再生可能エネルギー関連事業、医療機関向け支援事業を行っております。

前連結会計年度末より、より合理的な経営判断を行うために、報告セグメントを従来の「近代美術オークション」、「近代陶芸オークション」、「近代美術Part II オークション」、「その他オークション」、「プライベートセール」、「再生可能エネルギー関連事業」の6区分から、「オークション関連事業」、「再生可能エネルギー関連事業」の2区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。